

女川原子力発電所第2号機 工事計画審査資料	
資料番号	02-変 2-工-A-08-0001 改 2
提出年月日	2023年 6月 9日
【凡例】 : 前回ヒアリング資料からの変更箇所	

原子炉格納容器調気系主配管 要目表

(兼用する原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備 (原子炉格納容器フィルタベント系, 耐圧強化ベント系) 並びに圧力低減設備その他の安全設備の放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備 (原子炉格納容器フィルタベント系) 及び圧力低減設備その他の安全設備の圧力逃がし装置 (原子炉格納容器フィルタベント系) 主配管を含む)

2023年 6月

東北電力株式会社

原子炉格納容器調気系主配管 要目表

ホ 主配管

変更前						変更後						
名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	
原子炉格納容器調気系 T48-F001 ～ T48-F002出口側合流点	427	171	609.6	9.5	SM41C	変更なし	427	171	609.6	9.5	SM41C	
			609.6						609.6			SM41C
			457.2						609.6			SM41C
			609.6						609.6			SM41C
			609.6						609.6			SM41C
			609.6						609.6			SM41C
T48-F002出口側合流点 ～ 原子炉格納容器配管貫通部 (X-80)	427 854*6	171 200*6	61.1*5	(6.1)*5	S25C	変更なし						
原子炉格納容器調気系 ドライウエル入口配管分岐点 ～ サブプレッションチェンバ	427	171	609.6	9.5	SM41C	変更なし	427	104	609.6	31.0	SM400C	
			609.6						609.6			SM41C
		609.6	609.6						SM400C			
		609.6	609.6						SM400C			
		609.6	609.6						SM400C			
原子炉建屋内 ～ サブプレッションチェンバ入口 配管合流点1	427	104	609.6	9.5	SM41C	変更なし						
原子炉建屋内 ～ サブプレッションチェンバ入口 配管合流点2	427	104	609.6	9.5	SM41C	変更なし	427	104	609.6	31.0	SM400C	
			609.6						609.6			SM400C
			61.1*5						(6.1)*5			S25C

O2 変二 II R3

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

変更前						変更後										
名 称	最高使用圧 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料	名 称	最高使用圧 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料					
T48-F016 ～ ドライウェル入口配管合流点	427	171	457.2	(9.5)	SM400C	原子炉格納容器調気系	変更なし									
			457.2	(9.5)	SM400C											
T48-F010 ～ T48-F011入口側合流点	427	171	60.5	(5.5)	STS42 STS410							変更なし				
			60.5	(5.5)	STS410											
			60.5	(5.5)	STS410											
			60.5	(5.5)	STS410											
			60.5	(5.5)	STS410											
T48-F011入口側合流点 ～ T48-F002出口側合流点	427 854*	171 200*	60.5	(5.5)	STS410							変更なし				
			60.5	(5.5)	STS410											
			60.5	(5.5)	STS410											
			60.5	(5.5)	STS410											
ドライウェル補給用窒素配 管分岐点 ～ 原子炉建屋内吸入配管合流 点	427	171	60.5	(5.5)	STS410							変更なし				
		104	60.5	(5.5)	STS410											
原子炉格納容器配管貫通部 (X-81) ～ ドライウェル出口配管分岐点	427 854*	171 200*	609.6	(9.5)	SM400C	変更なし										
			609.6	(9.5)	SM400C											
			609.6	(9.5)	SM400C											
			609.6	(9.5)	SM400C											
			609.6	(9.5)	SM400C											

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

変更前						変更後					
名称	最高使用圧 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用圧 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料
ドライウェル出口配管分岐点 ～ T48-F046	427	171	609.6	(9.5)	SM400C	変更なし					
原子炉格納容器配管貫通部 (X-230) ～ ドライウェル出口配管分岐点	427 854*6	104 200*6	609.6	(31.0)	SM400C	変更なし					
			609.6	(31.0)	SM400C						
	427 854*6	171 200*6	609.6	(31.0)	SM400C	変更なし					
			609.6	(17.5)	SM400C						
	427 854*6	171 200*6	609.6	(9.5)	SM41C SM400C	変更なし					
			609.6	(9.5)	SM41C SM400C						
			609.6	(17.5)	SM400C						
			609.6 /	(9.5)	SM400C						
			609.6 /	(9.5)	SM400C						
			609.6 /	(9.5)	SM400C						
427 854*6	171 200*6	609.6	(17.5)	STS410	変更なし						
		609.6	(17.5)	STS410							
		406.4	(12.7)	STS410							
サプレッションチェンバ出口配管分岐点1 ～ T48-F045	427	171	318.5	(10.3)	SM400C	変更なし					
			318.5	(10.3)	STS410						
			318.5	(10.3)	STS410						

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

変更前						変更後						
名 称	最高使用圧 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料	名 称	最高使用圧 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料	
原子炉格納容器調気系	液体窒素貯槽	1.87 (MPa)	66	76.3	(5.2)	SUS304TP	原子炉格納容器調気系	変更なし				
	～ パージ用液体窒素蒸発器	1.77 (MPa)	66	76.3	(5.2)	SUS304TP		変更なし				
	パージ用液体窒素蒸発器	1.77 (MPa)	66	76.3	(5.2)	SUS304TP		変更なし				
				165.2	(7.1)	SUS304TP						
				34.0	(3.4)	SUS304TP						
				216.3	(8.2)	SUS304TP						
	パージ用液体窒素蒸発器 ～ T48-F016	1.77 (MPa)	66	216.3	(8.2)	SUS304TP		変更なし				
				89.1	(5.5)	SUS304TP						
		0.86 (MPa)	66	89.1	(5.5)	SUS304TP						
				216.3	(8.2)	SUS304TP						
		427	66	216.3	(8.2)	STPT370						
				457.2	(9.5)	SM400C						
	液体窒素貯槽出口配管分岐点 ～ 常時補給用液体窒素蒸発器 (送ガス用)	1.77 (MPa)	66	457.2	(14.3)	SM400C		変更なし				
				60.5	(5.5)	SUS304TP						
	常時補給用液体窒素蒸発器 (送ガス用)	1.77 (MPa)	66	34.0	(4.5)	SUS304TP		変更なし				
				80.0	(6.0)	A6063TE						
				60.0	(4.0)	A6063TE						
				31.0	(3.0)	A6063S						
	常時補給用液体窒素蒸発器 (送ガス用)	1.77 (MPa)	66	31.0	(3.2)	A6063TE		変更なし				
				34.0	(4.5)	SUS304TP						
60.5				(5.5)	SUS304TP							
427		66	60.5	(5.5)	STPL380							
			60.5	(5.5)	STPT370							
			60.5	(5.5)	STPT370							
常時補給用液体窒素蒸発器出 口配管分岐点 ～ T48-F030	1.77 (MPa)	66	60.5	(5.5)	STPT38	変更なし						
			21.7	(3.7)	STPT370							

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

注記*1 : 外径は公称値を示す。

*2 : () 内は公称値を示す。

*3 : エルボを示す。

*4 : 原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備（原子炉格納容器フィルタベント系）並びに圧力低減設備その他の安全設備の放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（可搬型窒素ガス供給系、原子炉格納容器フィルタベント系）及び圧力低減設備その他の安全設備の圧力逃がし装置（原子炉格納容器フィルタベント系）と兼用。

*5 : 差込継手の差込部内径及び最小厚さ。

*6 : 重大事故等時の使用時の値。

*7 : 原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備（原子炉格納容器フィルタベント系、耐圧強化ベント系）並びに圧力低減設備その他の安全設備の放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（原子炉格納容器フィルタベント系）及び圧力低減設備その他の安全設備の圧力逃がし装置（原子炉格納容器フィルタベント系）と兼用。

*8 : 記載の適正化を行う。令和3年12月23日付け原規規発第2112231号にて認可された設計及び工事の計画以降、原子炉格納容器調気系の既設配管の一部厚肉化を実施していること及び材料の記載の適正化を要目表に適切に記載していなかった。

*9 : 記載の適正化を行う。令和3年12月23日付け原規規発第2112231号にて認可された設計及び工事の計画以降、JIS規格に規定する寸法に適合する管継手として記載していたが、当該管継手はJIS規格に規定する寸法に適合するものではなく、その場合、評価方法の違いから管として記載することを適切に記載していなかった。

原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備
(原子炉格納容器フィルタベント系) 主配管 要目表

(8) 主配管（常設）

変 更 前						変 更 後						
名 称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料	名 称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料	
原子炉格納容器フィルタベント系	原子炉格納容器配管貫通部 (X-230) ※3					原子炉格納容器フィルタベント系						
	原子炉格納容器配管貫通部 (X-230) ※4 ～ ドライウエル出口配管分岐点											
	原子炉格納容器配管貫通部 (X-81) ※3											
	原子炉格納容器配管貫通部 (X-81) ※4 ～ ドライウエル出口配管分岐点											
	サブプレッションチェンバ出口配管分岐点3 ※5 ～ フィルタ装置											
	フィルタ装置 ※5 ～ フィルタ装置出口側ラブチャディスク											
フィルタ装置出口側ラブチャディスク ※5 ～ 排気管												

変 更 前							変 更 後					
名 称	最高使用 圧 (MPa)	最高使用 温 度 (℃)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 (MPa)	最高使用 温 度 (℃)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料	
原子炉格納容器フィルタベント系	フィルタ装置(A) ～ フィルタ装置(B)	*5	7. 原子炉格納施設 7.3 圧力低減設備その他の安全設備 (9) 圧力逃がし装置 a. 原子炉格納容器フィルタベント系 ニ 主配管 (常設) に記載する。				原子炉格納容器フィルタベント系	変更なし				
	フィルタ装置(B) ～ フィルタ装置(C)	*5										
	フィルタ装置連結管	*5										
	可搬型窒素ガス供給装置 接続口(屋外) ～ T48-F011入口側合流点	*6										
原子炉格納容器調気系	可搬型窒素ガス供給装置 接続口(屋内) ～ ドライウェル窒素供給 配管合流点	*6	7. 原子炉格納施設 7.3 圧力低減設備その他の安全設備 (7) 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格 納容器再循環設備 f. 可搬型窒素ガス供給系 ル 主配管 (常設) に記載する。				原子炉格納容器フィルタベント系	変更なし				
	T48-F011入口側合流点 ～ T48-F002出口側合流点	*4										
	T48-F002出口側合流点 ～ 原子炉格納容器配管貫 通部(X-80)	*4										
	原子炉格納容器配管貫通部 (X-80)	*3										
原子炉格納容器調気系	ドライウェル窒素供給 配管分岐点2 ～ 原子炉格納容器配管 貫通部(X-281)	*6	7. 原子炉格納施設 7.3 圧力低減設備その他の安全設備 (7) 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格 納容器再循環設備 f. 可搬型窒素ガス供給系 ル 主配管 (常設) に記載する。				原子炉格納容器フィルタベント系	変更なし				
		*6										
		*6										
		*6										

変 更 前						変 更 後						
名 称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料	名 称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料	
原子炉格納容器フィルタベント系	原子炉格納容器配管貫通部 (X-281) ^{*3}	7. 原子炉格納施設 7.1 原子炉格納容器 (4) 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部に記載する。										変更なし
	ドライウェル室素供給配管分岐点1 T48-F066 ^{*6}	7. 原子炉格納施設 7.3 圧力低減設備その他の安全設備 (9) 圧力逃がし装置 a. 原子炉格納容器フィルタベント系 ニ 主配管 (常設) に記載する。				原子炉格納容器フィルタベント系						変更なし
	T48-F066 フィルタ装置入口配管合流点 ^{*5}											
	フィルタ装置水補給接続口 (屋外) フィルタ装置 ^{*5}											
	フィルタ装置水補給接続口 (屋内) フィルタ装置 ^{*5}											

注記*1 : 外径は公称値を示す。

*2 : ()内は公称値を示す。

*3 : 本設備は、既存の原子炉格納施設のうち原子炉格納容器 (配管貫通部) であり、残留熱除去設備 (原子炉格納容器フィルタベント系) として本工事計画で兼用とする。

*4 : 本設備は、既存の原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器調気設備 (原子炉格納容器調気系) であり、残留熱除去設備 (原子炉格納容器フィルタベント系) として本工事計画で兼用とする。

*5 : 本設備は、原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の圧力逃がし装置 (原子炉格納容器フィルタベント系) であり、残留熱除去設備 (原子炉格納容器フィルタベント系) として本工事計画で兼用とする。

*6 : 本設備は、原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備 (可搬型室素ガス供給系) であり、残留熱除去設備 (原子炉格納容器フィルタベント系) として本工事計画で兼用とする。

原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備

(耐圧強化ベント系) 主配管 要目表

3.5.3 耐圧強化ベント系
(8) 主配管（常設）

O2 変二 II R1

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 ^{*1} (kPa)	最高使用温度 ^{*1} (°C)	外径 ^{*2} (mm)	厚さ ^{*3} (mm)	材料	名称	最高使用圧力 ^{*1} (kPa)	最高使用温度 ^{*1} (°C)	外径 ^{*2} (mm)	厚さ ^{*3} (mm)	材料
耐圧強化ベント系	原子炉格納容器配管貫通部(X-230)					耐圧強化ベント系	変更なし				
	原子炉格納容器配管貫通部(X-230)～ドライウエル出口配管分岐点										
	原子炉格納容器配管貫通部(X-81)										
	原子炉格納容器配管貫通部(X-81)～ドライウエル出口配管分岐点										
サブプレッションチェンバ出口配管分岐点2 ～ T48-F044	854	200	609.6 / 457.2 / 457.2 / 318.5	(9.5) / (9.5) (14.3) (10.3)	SM400C STS410						
T48-F044 ～ 非常用ガス処理系フィルタ装置出口配管合流点	854	171	318.5 *6 318.5 *6 318.5 *6	(10.3) *6 (10.3) *6 (10.3) *6	STS410 *6 STS410 *6 STS410 *6						

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 ^{*1} (kPa)	最高使用温度 ^{*1} (°C)	外径 ^{*2} (mm)	厚さ ^{*3} (mm)	材料	名称	最高使用圧力 ^{*1} (kPa)	最高使用温度 ^{*1} (°C)	外径 ^{*2} (mm)	厚さ ^{*3} (mm)	材料
耐圧強化ベント系 非常用ガス処理系					7. 原子炉格納施設 7.3 圧力低減設備その他の安全設備 (7) 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備 a. 非常用ガス処理系 ル 主配管 (常設) に記載する。	耐圧強化ベント系					変更なし

注記 *1 : 重大事故等時の使用時の値。

*2 : 外径は公称値を示す。

*3 : ()内は公称値を示す。

*4 : 本設備は、既存の原子炉格納施設のうち原子炉格納容器 (配管貫通部) であり、残留熱除去設備 (耐圧強化ベント系) として本工事計画で兼用とする。

*5 : 本設備は、既存の原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器調気設備 (原子炉格納容器調気系) であり、残留熱除去設備 (耐圧強化ベント系) として本工事計画で兼用とする。

*6 : エルボを示す。

*7 : 本設備は、既存の原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備 (非常用ガス処理系) であり、残留熱除去設備 (耐圧強化ベント系) として本工事計画で兼用とする。

圧力低減設備その他の安全設備の放射性物質濃度制御設備及び
可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備
(原子炉格納容器フィルタベント系) 主配管 要目表

ル 主配管 (常設)

変 更 前						変 更 後							
名 称	最高使用 圧 (MPa)	最高使用 度 温 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 (MPa)	最高使用 度 温 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料		
原子炉格納容器配管貫通部 (X-230)	*3 7. 原子炉格納施設 7.1 原子炉格納容器 (4) 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部に記載する。					原子炉格納容器配管貫通部 (X-230)	変更なし						
	原子炉格納容器調気系 ～ ドライウェル出口配管分岐点	*4 7. 原子炉格納施設 7.3 圧力低減設備その他の安全設備 (8) 原子炉格納容器調気設備 a. 原子炉格納容器調気系 ホ 主配管 に記載する。					変更なし						
		*3 7. 原子炉格納施設 7.1 原子炉格納容器 (4) 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部に記載する。					変更なし						
		原子炉格納容器調気系 ～ ドライウェル出口配管分岐点	*4 7. 原子炉格納施設 7.3 圧力低減設備その他の安全設備 (8) 原子炉格納容器調気設備 a. 原子炉格納容器調気系 ホ 主配管 に記載する。					変更なし					
			*5 7. 原子炉格納施設 7.3 圧力低減設備その他の安全設備 (9) 圧力逃がし装置 a. 原子炉格納容器フィルタベント系 ニ 主配管 (常設) に記載する。					変更なし					
原子炉格納容器フィルタベント系	*5 サプレッションチェンバ出口配管分岐点3 ～ フィルタ装置					原子炉格納容器フィルタベント系							
原子炉格納容器フィルタベント系	*5 フィルタ装置 ～ フィルタ装置出口側ラ ブチャディスク												
原子炉格納容器フィルタベント系	*5 フィルタ装置出口側ラ ブチャディスク ～ 排気管												

変更前						変更後						
名 称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料	名 称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料	
原子炉格納容器フィルタベント系	フィルタ装置(A) ～ フィルタ装置(B)	*5	7. 原子炉格納施設 7.3 圧力低減設備その他の安全設備 (9) 圧力逃がし装置 a. 原子炉格納容器フィルタベント系 ニ 主配管 (常設) に記載する。									変更なし
	フィルタ装置(B) ～ フィルタ装置(C)	*5										
	フィルタ装置連結管	*5										
可搬型窒素ガス供給系	可搬型窒素ガス供給装置接続口(屋外) ～ T48-F011入口側合流点	*6	7. 原子炉格納施設 7.3 圧力低減設備その他の安全設備 (7) 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備 f. 可搬型窒素ガス供給系 ル 主配管 (常設) に記載する。									変更なし
	可搬型窒素ガス供給装置接続口(屋内) ～ ドライウエル窒素供給配管合流点	*6										
原子炉格納容器調気系	T48-F011入口側合流点 ～ T48-F002出口側合流点	*4	7. 原子炉格納施設 7.3 圧力低減設備その他の安全設備 (8) 原子炉格納容器調気設備 a. 原子炉格納容器調気系 ホ 主配管 に記載する。									変更なし
	T48-F002出口側合流点 ～ 原子炉格納容器配管貫通部(X-80)	*4										
原子炉格納容器配管貫通部(X-80)	*3	7. 原子炉格納施設 7.1 原子炉格納容器 (4) 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部 に記載する。									変更なし	
可搬型窒素ガス供給系	ドライウエル窒素供給配管分岐点2 ～ 原子炉格納容器配管貫通部(X-281)	*6	7. 原子炉格納施設 7.3 圧力低減設備その他の安全設備 (7) 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備 f. 可搬型窒素ガス供給系 ル 主配管 (常設) に記載する。									変更なし

変 更 前						変 更 後					
名 称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料	名 称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料
原子炉格納容器配管貫通部 (X-281)	*3 7. 原子炉格納施設 7.1 原子炉格納容器 (4) 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部に記載する。					原子炉格納容器配管貫通部	変更なし				
	原子炉格納容器フィルタベント系	*5 ドライウエル窒素供給配管分岐点1 ～ T48-F066 *5 T48-F066 ～ フィルタ装置入口配管合流点 *5 フィルタ装置水補給接続口(屋外) ～ フィルタ装置 *6 フィルタ装置水補給接続口(屋内) ～ フィルタ装置					原子炉格納容器フィルタベント系	*5 7. 原子炉格納施設 7.3 圧力低減設備その他の安全設備 (9) 圧力逃がし装置 a. 原子炉格納容器フィルタベント系 ニ 主配管(常設) に記載する。			

注記*1 : 外径は公称値を示す。
 *2 : ()内は公称値を示す。
 *3 : 本設備は、既存の原子炉格納容器(配管貫通部)であり、圧力低減設備その他の安全設備の放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備(原子炉格納容器フィルタベント系)として本工事計画で兼用とする。
 *4 : 本設備は、既存の圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器調気設備(原子炉格納容器調気系)であり、圧力低減設備その他の安全設備の放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備(原子炉格納容器フィルタベント系)として本工事計画で兼用とする。
 *5 : 本設備は、圧力低減設備その他の安全設備の圧力逃がし装置(原子炉格納容器フィルタベント系)であり、圧力低減設備その他の安全設備の放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備(原子炉格納容器フィルタベント系)として本工事計画で兼用とする。
 *6 : 本設備は、圧力低減設備その他の安全設備の放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備(可搬型窒素ガス供給系)であり、圧力低減設備その他の安全設備の放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備(原子炉格納容器フィルタベント系)として本工事計画で兼用とする。

圧力低減設備その他の安全設備の圧力逃がし装置
(原子炉格納容器フィルタベント系) 主配管 要目表

ニ 主配管 (常設)

変 更 前						変 更 後						
名 称	最高使用 圧力*1 (kPa)	最高使用 温度*1 (°C)	外 径*2 (mm)	厚 さ*3 (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧力*1 (kPa)	最高使用 温度*1 (°C)	外 径*2 (mm)	厚 さ*3 (mm)	材 料	
原子炉格納容器配管貫通部 (X-230)	*4 7. 原子炉格納施設 7.1 原子炉格納容器 (4) 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部に記載する。					原子炉格納容器配管貫通部 (X-230)	変更なし					
	原子炉格納容器調気系 ～ ドライウエル出口配管分岐点	*5 7. 原子炉格納施設 7.3 圧力低減設備その他の安全設備 (8) 原子炉格納容器調気設備 a. 原子炉格納容器調気系 ホ 主配管 に記載する。					変更なし					
		*4 7. 原子炉格納施設 7.1 原子炉格納容器 (4) 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部に記載する。					変更なし					
	原子炉格納容器調気系 ～ ドライウエル出口配管分岐点	*5 7. 原子炉格納施設 7.3 圧力低減設備その他の安全設備 (8) 原子炉格納容器調気設備 a. 原子炉格納容器調気系 ホ 主配管 に記載する。					変更なし					
		*6 サブプレッションチェンバ出口配管分岐点3 ～ フィルタ装置 (次頁へ続く)					変更なし					
				406.4	(12.7)		STS410					
			406.4 *7	(12.7) *7	STS410 *7							
			406.4	(21.4)	SF490A							
			406.4	(12.7)	STS410							
			406.4	(12.7)	STS410							
			61.1 **8	(6.1) **8	S25C							
			406.4	(12.7)	STS410							
			406.4	(12.7)	STS410							
			216.3	(8.2)								

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

変 更 前						変 更 後						
名 称	最高使用 圧力*1 (kPa)	最高使用 温度*1 (℃)	外 径*2 (mm)	厚 さ*3 (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧力*1 (kPa)	最高使用 温度*1 (℃)	外 径*2 (mm)	厚 さ*3 (mm)	材 料	
原子炉格納容器フィルタベント系 (前頁からの続き) サブプレッションチェンバ出口 配管分岐点3 ～ フィルタ装置	854	200	406.4 /	(12.7)	STS410	原子炉格納容器フィルタベント系	854	200	216.3	(8.2)	STS410	変更なし
			216.3	(8.2)								
			216.3*7	(8.2)*7								
原子炉格納容器フィルタベント系 フィルタ装置 ～ フィルタ装置出口側ラプチャ ディスク	854	200	406.4*7	(12.7)*7	SUS316LTP*7	原子炉格納容器フィルタベント系	854	200	508.0	(15.1)	STS410	変更なし
			406.4	(12.7)	STS410							
			406.4*7	(12.7)*7	STS410*7							
			406.4	(12.7)	STS410							
			508.0	(15.1)	STS410							
			508.0	(15.1)	STS410							
			508.0	(15.1)	STS410							
			508.0	(15.1)	SM400C							
508.0*7	(15.1)*7	STS410*7										
508.0	(15.1)	STS410										
508.0	(15.1)	STS410										

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

変更前						変更後							
名 称	最高使用 圧力*1 (kPa)	最高使用 温度*1 (℃)	外 径*2 (mm)	厚 さ*3 (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧力*1 (kPa)	最高使用 温度*1 (℃)	外 径*2 (mm)	厚 さ*3 (mm)	材 料		
原子炉格納容器フィルタベント系	*6 フィルタ装置出口側ラプチャ ディスク ～ 排気管	854	200	508.0	(15.1)	SUS316L	原子炉格納容器フィルタベント系	変更なし					
				508.0*7	(15.1)*7	SUS316LTP*7							
				508.0	(15.1)	SUS316LTP							
				508.0	(15.1)								
				508.0	(26.2)	SUSF316L							
	*6 フィルタ装置(A) ～ フィルタ装置(B)	854	200	61.1*8,*9	(6.1)*8,*9	SUS316L*9							変更なし
				60.5	(5.5)	SUS316LTP							
	*6 フィルタ装置(B) ～ フィルタ装置(C)	854	200	61.1*8,*9	(6.1)*8,*9	SUS316L*9							変更なし
				60.5	(5.5)	SUS316LTP							
	*6 フィルタ装置連結管	854	200	60.5	(5.5)	SUS316LTP							変更なし
				60.5*7	(5.5)*7	SUS316LTP*7							
		1.2(MPa)	200	60.5	(5.5)	SUS316LTP							
60.5				(5.5)	SUS316LTP								
60.5				(5.5)									
60.5				(5.5)	SUS316LTP*7								
60.5				(5.5)									
60.5	(5.5)	SUS316LTP											

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

変更前						変更後							
名	称	最高使用 圧力*1 (kPa)	最高使用 温度*1 (℃)	外 径*2 (mm)	厚 さ*3 (mm)	材 料	名	称	最高使用 圧力*1 (kPa)	最高使用 温度*1 (℃)	外 径*2 (mm)	厚 さ*3 (mm)	材 料
原子炉格納容器フィルタベント系	可搬型窒素ガス供給系	*10 可搬型窒素ガス供給装置接続口(屋外)～T48-F011 入口側合流点	7. 原子炉格納施設 7.3 圧力低減設備その他の安全設備 (7)放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備 f. 可搬型窒素ガス供給系 ル 主配管 に記載する										変更なし
		*10 可搬型窒素ガス供給装置接続口(屋内)～ドライウエル窒素供給配管合流点											
	原子炉格納容器調気系	*5 T48-F011 入口側合流点～T48-F002 出口側合流点	7. 原子炉格納施設 7.3 圧力低減設備その他の安全設備 (8) 原子炉格納容器調気設備 a. 原子炉格納容器調気系 ホ 主配管 に記載する。										変更なし
		*5 T48-F002 出口側合流点～原子炉格納容器配管貫通部(X-80)	7. 原子炉格納施設 7.3 圧力低減設備その他の安全設備 (8) 原子炉格納容器調気設備 a. 原子炉格納容器調気系 ホ 主配管 に記載する。										変更なし
	原子炉格納容器配管貫通部(X-80)	*4	7. 原子炉格納施設 7.1 原子炉格納容器 (4) 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部 に記載する。										変更なし
可搬型窒素ガス供給系	*10 ドライウエル窒素供給配管分岐点2～原子炉格納容器配管貫通部(X-281)	7. 原子炉格納施設 7.3 圧力低減設備その他の安全設備 (7)放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備 f. 可搬型窒素ガス供給系 ル 主配管 に記載する。										変更なし	
原子炉格納容器フィルタベント系													

変 更 前						変 更 後					
名 称	最高使用 圧力*1 (kPa)	最高使用 温度*1 (℃)	外 径*2 (mm)	厚 さ*3 (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧力*1 (kPa)	最高使用 温度*1 (℃)	外 径*2 (mm)	厚 さ*3 (mm)	材 料
原子炉格納容器フィルタベント系	*4 7. 原子炉格納施設 7.1 原子炉格納容器 (4) 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部に記載する。					変更なし					
	*6 原子炉格納容器配管貫通部 (X-281)	854	66	60.5	(5.5)	STS410	変更なし				
	*6 ドライウェル室素供給配管分岐点1 ~ T48-F066	854	66	60.5	(5.5)	STS410	変更なし				
	*6 T48-F066 ~ フィルタ装置入口配管合流点	854	66	60.5	(5.5)	STS410	変更なし				
				60.5*7	(5.5)*7	STS410*7					
		200	66	60.5	(5.5)	STS410					
				61.1*7,*8	(6.1)*7,*8	S25C*7					
				61.1*8	(6.1)*8	S25C					
				61.1*8	(6.1)*8						
	60.5*7	(5.5)*7	STS410*7								
	*6 フィルタ装置水補給接続口 (屋外) ~ フィルタ装置	2.0 (MPa)	66	76.3	(5.2)	SUS316LTP	変更なし				
				76.3	(5.2)	SUS316LTP					
				60.5	(5.5)	SUS316LTP					
				60.5	(5.5)	SUS316LTP					
				61.1*7,*8	(6.1)*7,*8	SUS316L*7					
854		200	66	61.1*8	(6.1)*8	SUS316L					
				61.1*8	(6.1)*8						
				61.1*8	(6.1)*8						
				60.5	(5.5)	SUS316LTP					
				61.1*7,*8	(6.1)*7,*8	SUS316L*7					
61.1*8,*9	(6.1)*8,*9	SUS316L*9									

変 更 前						変 更 後						
名 称	最高使用 圧力 ^{*1} (kPa)	最高使用 温度 ^{*1} (℃)	外 径 ^{*2} (mm)	厚 さ ^{*3} (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧力 ^{*1} (kPa)	最高使用 温度 ^{*1} (℃)	外 径 ^{*2} (mm)	厚 さ ^{*3} (mm)	材 料	
原子炉格納容器 フィルタベント系	フィルタ装置水補給接続口 (屋内) ～ フィルタ装置 ^{*6}	2.0 (MPa)	66	76.3	(5.2)	SUS316LTP	原子炉格納容器 フィルタベント系	変更なし				
				76.3 ^{*7}	(5.2) ^{*7}	SUS316LTP ^{*7}						
				76.3	(5.2)	SUS316LTP						
				60.5	(5.5)	SUS316LTP						
				60.5	(5.5)	SUS316LTP						
				61.1 ^{*7,*8}	(6.1) ^{*7,*8}	SUS316L ^{*7}						
				61.1 ^{*8}	(6.1) ^{*8}	SUS316L						
				61.1 ^{*8}	(6.1) ^{*8}	SUS316L						
				61.1 ^{*8}	(6.1) ^{*8}	SUS316L						
				61.1 ^{*8}	(6.1) ^{*8}	SUS316L						
				61.1 ^{*8}	(6.1) ^{*8}	SUS316L						
				61.1 ^{*8,*9}	(6.1) ^{*8,*9}	SUS316L ^{*9}						
				60.5	(5.5)	SUS316LTP						
	61.1 ^{*7,*8}	(6.1) ^{*7,*8}	SUS316L ^{*7}									
61.1 ^{*8,*9}	(6.1) ^{*8,*9}	SUS316L ^{*9}										
854	200											

- 注記^{*1} : 重大事故等時における使用時の値。
^{*2} : 外径は公称値を示す。
^{*3} : ()内は公称値を示す。
^{*4} : 重大事故等時における使用時の値。
^{*5} : 本設備は、既存の原子炉格納容器（配管貫通部）であり、圧力低減設備その他の安全設備の圧力逃がし装置（原子炉格納容器フィルタベント系）として本工事計画書で兼用とする。
^{*6} : 原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備（原子炉格納容器フィルタベント系）及び圧力低減設備その他の安全設備の放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（原子炉格納容器フィルタベント系）と兼用。
^{*7} : エルボを示す。
^{*8} : 差込継手の差込部内径及び最小厚さ。
^{*9} : フルカップリングを示す。
^{*10} : 本設備は、既存の圧力低減設備その他の安全設備の放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（可搬型窒素ガス供給系）であり、圧力低減設備その他の安全設備の圧力逃がし装置（原子炉格納容器フィルタベント系）として本工事計画書で兼用とする。